

平成26年産そばの放射性物質検査結果

県では、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故に関連して、県産農産物の放射性物質検査を行いましたので、その結果についてお知らせします。

これまでに検査した農産物については、放射性セシウムは基準値以下であることが確認されております。現在、出荷制限・出荷自粛がかかっている品目はありません。今後も検査を継続して実施し、県産農産物の安全性を確認してまいります。

【基準値】

一般食品

放射性セシウム : 100ベクレル/kg

飲料水（飲用に供する茶を含む）

放射性セシウム : 10ベクレル/kg

【分析方法】ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法

注) ベクレル: 放射能の強さを表す単位で、単位時間（1秒間）内に原子核が崩壊する数を表す。

注) 「検出せず」とは、検出限界値未満であることを示す。括弧内の数値は検出限界値。

注) 赤枠は基準値を超えたもの（放射性セシウムについては、134と137の合計で判断）

注) そばの測定試料は玄そば

単位: ベクレル/kg

番号	公表日	栽培地	採取日	品目	栽培状況	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	放射性セシウム 合計
3420	26年11月21日 (第201報)	我孫子市	11月18日	そば	露地	検出せず (7.9未満)	検出せず (7.3未満)	検出せず